

農業功労者 2団体が表彰されました

問 富士見町農業委員会事務局 ☎62-9232

4月19日(木)ベルファイン橋場において、平成29年度第46回諏訪地区農業委員会協議会長表彰式が行われ、農業功労者として、農村女性ネットふじみと立沢ひまわりの会が表彰されました。

農村女性ネットふじみは、女性農業者を中心に、昭和41年に旧富士見町生活改善グループとして活動を開始しました。現在は料理講習会、諏訪の伝統食、保存食を継承する活動や、学校給食への地元野菜の提供、子供たちの農業体験支援等を行っています。また、味噌の加工販売をする「味の会」や「そば処おっこと亭」など、女性が地域で活躍できる道筋を作ってきました。45年余の長きにわたり地域を活性化する活動に貢献した功績を讃えられました。



▲農村女性ネットふじみ

立沢ひまわりの会は、平成14年に女性農業者を中心として発足されました。活用していない農地を借り受けてひまわりを育て、収穫した種子を昔ながらの圧搾法で「ひまわり油」を作っており、搾油施設には視察が多く訪れています。現在では1.2haの農地で1,300kgの収穫があり、30名の会員のみならず、地域の方々とも一緒に作業をしています。地元小中学校への農業普及、食育活動への尽力、町の遊休農地の解消等において貢献した功績を讃えられました。



▲立沢ひまわりの会

受賞された方々の、今後のご活躍をお祈りいたします。

原村の一部で発生している「テンサイシストセンチュウ」について

問 産業課 営農推進係 ☎62-9328

平成29年9月1日に原村の一部の農地において「テンサイシストセンチュウ」が日本で初めて確認されました。このセンチュウはこれまで国内で発生が認められていなかった植物の害虫で、発生が広がると国内の農業に大きな悪影響を及ぼす恐れがあることから、発生範囲内では国の重要病害虫として特別な防除対策が講じられています。なお、このセンチュウは人畜無害であり、万が一このセンチュウが付着した農作物を食べても健康を害することはありません。

発生範囲と町内農地への影響は？

発生確認から国の対策検討会でこのセンチュウの全国調査を実施し、発生範囲は原村中新田地区の一部の限定的な範囲であると結論付けられました。また、発生範囲内では土壌の移動制限等の対策が講じられているため、現時点で町内農地への影響はありません。

害虫の特徴と症状は？

このセンチュウは殻（シスト）の中の卵の状態越冬し、畑の土の中にいます。この卵の状態では乾燥や低温等に耐えて生存し、キャベツ等の寄主植物が植えられると、幼虫が卵からふ化してその根に寄生して養分を摂取するため、地上部が生育遅延や生育不良となります。根を掘りあげるとひげ根が異常に多かったり、1mm程度の褐色の殻が見られます。

寄主植物は？

キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、チンゲンサイ、カブ、野沢菜、ホウレンソウ、ルバーブなどです。

相談先は？

このセンチュウの相談先は、諏訪農業改良普及センター（☎57-2931）です。